STROKE LAB / CLINICAL WORKSHEET

ABC-J｜回答と条件を残す

原票併用の記録用紙・16項目版

氏名／ID：_____ 評価日：_____ 評価者：_____

本人が選んだ自信を原票から転記します。回答を得るための動作実演は不要です。普段の補助具・支えと、質問で指定された条件を確認します。

回答方法：☐ 自記 ☐ 読み上げ・本人回答 ／ 所要時間：_____分

想定した杖・歩行器・他者の支え：_____

理解・回答の確認：☐ 可能 ☐ 確認が必要 ／ 使用版：_____

項目番号	回答（%）	項目番号	回答（%）
1	_____	9	_____
2	_____	10	_____
3	_____	11	_____
4	_____	12	_____
5	_____	13	_____
6	_____	14	_____
7	_____	15	_____
8	_____	16	_____

回答済み：_____／16項目　　合計：_____　÷16＝ _____ %

16項目がそろったときに平均を算出。未回答を0%に置き換えません。欠損がある場合は理由と、採用する処理規則を記録します。

低い自信のある項目番号・本人が想定した場面／未回答の理由

原票・採点案内

日本語版研究・電子付録（原票）を開く

本用紙は得点と臨床観察の記録用です。質問文は日本語版原票をご使用ください。

STROKE LAB / CLINICAL WORKSHEET

ABC-J｜結果を生活支援へ

原票併用の記録用紙・16項目版

氏名／ID：_____ 評価日：_____ 評価者：_____

01　自信・動作・実行を分けて記録

本人が再開したい活動／本人の言葉

実際に観察した動作・必要な支え・症状・環境

生活で実行した回数・場面／避けている理由

02　次に試す支援を一つ決める

練習・環境調整・補助具／誰と、どこで、どの条件で行うか

03　再評価

前回：_____%　今回：_____%　変化：_____ポイント

回答条件の違い／客観的動作と生活の変化／次回確認日

変化量の参考：慢性期ABC-JのMDCは19.79ポイント（Ishigeら）。亜急性期研究のMICは15.6ポイント（Kobayashiら）。対象・算出方法が異なるため、一律の合否ラインにしません。

出典・原資料

Ishige et al. 2020：日本語版の研究

Kobayashi et al. 2025：亜急性期の変化量